



ボランティアの意味

ボランティアとは「自発的に、自由に行動する人」という意味で、一人ひとりの人間の尊厳や自由な意思を大事にする理念がこめられています。

現在、このことばは、“国境をこえた共通の言葉として、世界中で使われています。”

ボランティア活動は、社会的・身体的ハンディ、経済的豊かさのあるなし、国境、人種、年齢の違い、社会的地位をとわず、全ての人が社会を築く大きな力となっています。

近年は、貴重な環境や文化を保存する活動などその領域は拡大しています。自分たちの暮らしや文化をより豊かにするために、ボランティア活動の果たす役割は大きくなっています。

ボランティア活動の理念

ボランティア活動の4原則



1. 自発性

(自由意志・主体性)

個人の自由意志に基づいて行われる活動です。他から強制されたり、義務として押し付けられたりするものではありません。「ほうっておけない!」「なんとかしなくては・・・」そんな自分の心の中から湧き上がる思いから始まる活動です。

2. 公益性

(普遍性・社会性)

生命の尊さを考え、それを守り、育てあう活動です。そして「誰もが安心して生活していくことができる社会」を目指していく活動です。「人が人として生きる」という社会福祉のなかでとても大切なノーマライゼーションの考え方に根ざしています。

3. 無償性

(無報酬性・非営利性)

精神的報酬を得る活動であっても、金銭の報酬を期待して行うものではありません。ただし、活動にかかる費用(交通費・材料費)は、「実費弁償」として無償の範囲内であると考えます。

活動を通じてさまざまな人との出会いや感動を得る事「人儲け」の活動です。

4. 創造性・開拓性

(先駆性・教育性)

地域社会のさまざまなニーズに積極的にかかわり、より豊かな福祉社会をめざす創造性・開拓性・先駆性が期待されます。また、活動する人自身が活動を通して社会の仕組みや人の生き方を学ぶことができ、教育性にあふれています。